

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	危機管理室	部長名	南野 徹
----	-------	-----	------

1. 中長期的な取組方針 今後、本市に最も大きな被害をもたらすであろう地震災害に備えた、災害体制の構築等に重点を置き、特に職員と地域防災力(消防団・自主防災組織等)との連携強化を図り、より実践的な訓練を行うことで課題点を洗い出し修正することで、災害時に、迅速で的確な対応を可能なものとする。 また、災害時等の災害対応能力の向上及び市民への災害情報の伝達力の強化は、防災支援システム及び防災アプリ等（以下、「システム等」という。）の運用及び防災訓練により、大東での暮らしをどこよりも安全・安心なものとする。
--

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	57.1%	
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	51.6%	
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
危機管理の徹底							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
災害等に対して安全・安心なまちに対する市民満足度（目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54.0%	
（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%	34.5%	34.9%	
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

4. 令和7年度の取組方針	令和7年度の取組実績
今後、本市の最も大きな被害をもたらすであろう大規模災害に備え、昨年度実施した業務や訓練等の教訓及び成果を基に、計画やマニュアル等の整備を行うとともに、各種関係機関や災害協定締結先と連携した防災訓練を実施することにより計画等の検証を行う。 災害発生に備えた地域防災力の向上を図るため、地域防災の担い手を育成する目的で、防災士資格取得補助事業により、各自主防災組織からの推薦により防災士資格取得者の確保を目指す。また、引き続き各自治区での自主防災組織で実施される防災訓練や出前講座などの機会を積極的に活用し、丁寧な説明に努め、地区防災計画、個別避難計画の作成を希望される地区に対し支援を行う。	令和6年能登半島地震の教訓を基に、各種関係機関と連携した医療、ペット同行避難及び受援に関する訓練を実施し、計画・マニュアル等の整備に努めた。 さらに、本市地域防災力の向上、避難体制の充実を図るため、自主防災組織と連携し、地区防災計画等の作成の推進に努めるとともに、災害弱者の避難確保ため、個別避難計画の作成を積極的に推進した。

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	政策推進部	部長名	野村 政弘
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針							
第5次大東市総合計画及び第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本的な考え方を踏まえ、「選ばれるまち」として機動性と先進性、柔軟性を備えた戦略を推進し、大東に住む人、大東に関わる人をも増やしていくことができるまちづくりを展開する。 1）大東が他市に先駆けて取り組んできた「公民連携」「住民自治」の発想により、多様な関わりをまちづくりに取り入れていく。 2）誰も排除されず、あらゆる人が自分が生きたいような生き方を選択できる社会を作る。大東の中で培われてきた自主性の尊重、自発的な協力や取引を重視し、市民により近いところで課題解決に取り組む。 3）魅力的な大東市になるためにオープンでコラボラティブ（公民連携）で多様な能力や資格を持った人々が参画する仕組みを整える。 4）行政を再発見し、効率や競争力を重視するのではなく、実際の効果、アウトカムを測る。共感を軸として機能するように市民を取り巻く環境、状況を包括的に理解しデザインする。							

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）	64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	57.1%
大東の将来への期待度の向上	（目標値）	74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
	（実績値）	72.4%	51.3%	56.1%	55.7%	51.6%	—
健康寿命の延伸	（目標値）	平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の延伸
	（実績値）	平均寿命 男性：80.0歳 女性：82.4歳 健康寿命 男性：77.9歳 女性：82.2歳 （平成27年）	平均寿命 男性：80.7歳 女性：87.6歳 健康寿命 男性：78.9歳 女性：82.7歳 （平成27年）	平均寿命 男性：80.7歳 女性：87.6歳 健康寿命 男性：78.9歳 女性：82.7歳 （平成27年）	—	—	—
市民の経済力の向上	（目標値）	課税対象所得 府内平均以上	課税対象所得 府内平均以上	課税対象所得 府内平均以上	課税対象所得 府内平均以上	課税対象所得 府内平均以上	課税対象所得 府内平均以上
	（実績値）	課税対象所得 府内平均以下 （平成29年）	課税対象所得 府内平均以上 （令和3年）	課税対象所得 府内平均以下 （令和4年）	課税対象所得 府内平均以上 （令和5年）	課税対象所得 府内平均以下 （令和6年）	—
人口構成バランスの適正化	（目標値）	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
	（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
危機管理の徹底							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
災害等に対して安全・安心なまちに対する市民満足度	（目標値）	30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54.0%	
	（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%	34.9%	
	（目標値）						
	（実績値）						

【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
駅前の地価の上昇	（目標値）	18.2万円 16.2万円 25.1万円	18.4万円 16.3万円 25.2万円	18.6万円 16.5万円 25.3万円	18.8万円 16.6万円 25.4万円	18.9万円 16.8万円 25.5万円	
	（実績値）	四条堀駅18万円 野崎駅16万円 住道駅25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25.5万円	18.5万円 16万円 27万円	18.5万円 16万円 30万円	
住みたい自治体ランキング 関西版	（目標値）					30位以内	
（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外	ランク外	ランク外	

【重点分野】							
確かな学力の向上と教育環境の充実							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合	（目標値）					国平均以上	
	（実績値）	大東市 小：79.8% 中：75.9% 国 小：85.8% 中：81.9% （令和元年度）	大東市 小：82.0% 中：82.4% 国 小：81.1%	大東市 小：81.5% 中：84.2% 国 小：82.4% 中：82.9%	大東市 小：80.5% 中：74.5% 国 小：80.2% 中：81.8%	大東市 小：78.9% 中：79.5% 国 小：84.4% 中：83.1%	大東市 小：82.8% 中：80.6% 国 小：86.5% 中：86.1%
	（目標値）						
	（実績値）						

【重点分野】							
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
経常収支比率の改善（フロー）	（目標値）					大阪府平均以下	
	（実績値）	大東市 99.0% 大阪府 95.7%	大東市 98.9% 大阪府 95.7%	大東市 97.2% 大阪府 96.5%	大東市 99.6% 大阪府 97.6%	大東市 97.6% 大阪府 96.6%	—
将来負担比率の維持（ストック）	（目標値）	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	
（実績値）	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	—	
地方公共団体が優先的にオンライン化するべきとされている手続きのオンライン化率（本市にかかもの）	（目標値）	26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81.0%	
	（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%	61.0%	62.7%
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	（目標値）	24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55.0%	
	（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.5%	29.4%

4. 令和7年度の取組方針		令和7年度の取組実績					
●大東の強みである市民の力が存分に発揮できるよう、多くの皆様の意見を取り入れ、めざすまちの姿と現実化に向けた事業展開を構築することで、さらなる市民サービスの充実を図り、「日本一元気なまち大東」をめざす。 ●先駆的な取組や魅力ある施策をはじめ、大東の魅力を市内外に効果的に発信し、大東ファンを増やす取組を推進する。 ●総合戦略の最終年度となる令和7年度において、各部等が実施する事業の進捗状況の確認・検証を行うとともに、関係各部との連携を強化し、施策推進の着実な進捗を図る。		●市民意識調査をはじめ、LINEを通じたアンケートや大東市内小中学生に向けたアンケートを行うなど、市民の意見を取り入れる機会を設けた。 ●情報発信の相談体制（専門アドバイザー設置、マニュアル化）や広報ガイドラインの策定、職員研修を通じて庁内の情報発信力を強化し、市民への効果的な情報提供を可能とする基盤を整備した。 ●万博・70周年を契機とした広報誌、HP、各種動画（シティプロモーション、市勢要覧）、JCOM番組、横断幕など多角的な媒体を積極的に活用し、大東の魅力を市内外に効果的に発信することで、「大東ファン」の増加に貢献した。 ●PRアドバイザーによる成果検証、新たなアドバイザー（動画）の検討、総合戦略に基づく広報ガイドラインの作成、予算重点施策の相談マニュアル化を進め、施策推進の着実な進捗を図った。 ●「大東市DX推進基本計画」改訂作業を行うとともに、デジタルツールの検討を行うワーキングチーム4チームを立ち上げ、現状の課題の洗い出しやツールの活用可能性の検討などに取り組むことができた。 ●行政手続きのオンライン化を推進するため、大東市電子申請システムにおける手続の拡充に取り組んだほか、RPAの継続活用や拡充、各種デジタルツールの勉強会や相談会の実施など、円滑な取組の実施や拡大に取り組んだ。					

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	総務部	部長名	鳥山 和郎
----	-----	-----	-------

1. 中長期的な取組方針
第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を下支えする体制構築のため、ICTを活用した利便性の高い行政サービスの提供に努めるとともに、デジタル技術の導入や業務プロセスの見直し等により効率的な業務遂行を推進していく。また、そのためには職員の意欲を高め、能力を最大限に引き出すことが不可欠であることから、人材確保・人材育成・キャリア形成支援等が一体となった人材マネジメントの推進に取り組んでいく。

2. 関連する総合計画の基本目標								
【基本目標】		当初（R 2）	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 1 2 年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	57.1%	
大東の将来への期待度の向上	（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	51.6%	
	（目標値）							
	（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）						
【重点分野】						
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81.0%
（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%	61.0%	62.7%
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55.0%
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.5%	29.4%

【重点分野】						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和7年度の取組方針	令和7年度の取組実績
将来的な労働力の減少を見据えると、業務の効率化は不可欠であることから、デジタル化を中心とした業務の効率化など、限られたマンパワーで安定的に組織運営ができるよう取組を進めていく。 また、それを実現するためには、原動力となる職員の意欲の向上が重要であることから、組織マネジメントを強化するとともに、人材の確保や定着、長時間労働の抑制、ワークライフバランスの改善、ハラスメント対策の充実等、様々な側面からより働きやすい労働環境を整備していく。	出退勤システムの電子決裁、年末調整に係る申告書及び税務証明書取得に係る電子申請化等により、更なる業務効率化を進めた。 また、職員の労働環境整備のため、ハラスメント外部相談窓口の設置や名札のひらがな表記の統一、「大東市公正な職務の執行の確保等に関する条例」の制定など、各種ハラスメント対策の推進や、軽装勤務の通年化、メンタルヘルスマネジメント研修等を実施した。 来年度も引き続き、業務効率及び労働環境の改善を進めてまいりたい。

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	市民生活部	部長名	竹田 智英				
1. 中長期的な取組方針							
「第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、未来につながる環境づくり、環境にやさしいまちづくりを目指し、引き続きプラスチックごみ削減の取組み「だいとうプラスチックごみゼロ宣言」を実行するとともに、令和6年4月から実施したペットボトルの水平リサイクルの目的・効果等を広く市民に発信し、環境意識の醸成に繋げる。また、地域の脱炭素化を目指し、令和5年度に策定した大東市地球温暖化対策実行計画に基づき、本市をはじめ、住民・地域企業など地域が主体となって積極的に脱炭素に取り組む仕組みを構築し、カーボンニュートラルを目指す企業の立地、投資上の魅力を高めるなど、地域産業の維持向上につなげるとともに、省エネ・創エネを推進し、二酸化炭素排出量の削減等を目指す。更には、まちに対する市民の愛着の醸成をはかるために市民協働・住民自治の取組を進め、市民の皆さんが地域に関心を持ち、地域のひとと人とのつながりを基にして助け合い、支えあうことができる住み良い地域社会づくり、自治会加入の促進を図るとともに、安全で安心な住みよい地域社会の実現のため、防犯カメラの設置を計画的に進めていく。行政サービスのデジタル化のさらなる進展のために中核となるICTを活用した行政サービスに寄与するマイナンバーカードの取得促進、窓口予約制等の滞留時間短縮の仕組みを更に充実させるべく引き続き関係部署と連携し、便利で快適な窓口環境の構築およびDX化の推進に寄与する。							
2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）	64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	
大東の将来への期待度の向上	（目標値）	74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	51.6%	
	（目標値）						
	（実績値）						
3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
住みたい自治体ランキング関西版	（目標値）						30位以内
	（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外	ランク外	ランク外
資源化率	（目標値）	17.3%	18.0%	18.7%	19.4%	20.1%	
	（実績値）	16.6%	17.6%	17.00%	17.2%	16.80%	集計中
庁内の温室効果ガス排出量削減率	（目標値）	38.2%	38.4%	49.8%	51.6%	53.4%	(R12.62%)
	（実績値）	49.0%	45.0%	48.0%	46.80%	35.60%	集計中
交通災害共済の加入率	（目標値）	26.5%	27.0%	28.0%	29.0%	30.0%	
	（実績値）	26.2%	25.1%	24.3%	23.37%	22.84%	集計中
マイナンバーカードの普及率	（目標値）	50.0%	55.0%	60.0%	80.0%	85.0%	
	（実績値）	28.2%	43.0%	64.2%	76.14%	84.53%	集計中
【重点分野】							
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化	（目標値）	26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81.0%	
	（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%	61.0%	62.7%
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	（目標値）	24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55.0%	
	（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.5%	29.4%
4. 令和7年度の取組方針			令和7年度の取組実績				
●市民の安全・安心な暮らしを守るために、SDGsの達成に向けた取り組みを意識しながら、地域の特性や実情に即した支援、課題解決を実現するため施策を推進する。 ●地域住民の生活に直結するサービスを提供する当部においては、市民目線に立ったわかりやすい窓口対応に努めるとともに、市民や事業者等との協働を常に意識し行動する。 ●目標を達成するため「風通しの良い職場」の構築を目指し、自由な意見交換、コミュニケーションが活発な職場環境を構築する。また、令和2年度より実施している部全体の勉強会を開催し、組織の活性化、職員の能力向上を図る。 【具体的な施策】 ①市民協働・住民自治の充実（自治会支援の在り方見直し）、②交通災害共済の加入率向上（自転車用ヘルメットの普及促進）、③地球温暖化対策実行計画の推進、④河川美化等の推進、⑤事業系ごみ処理手数料の見直し、⑥マイナンバーカードの普及促進およびコンビニ交付の利用促進			①「年ごとに大きく育て郷土愛」を合言葉に、「市民まつり」を11月に開催。生憎の雨であったが推計で6,000人が来場。次年度以降、雨天による実施は『少雨決行』から『荒天中止』へ変更する予定。アンケート結果においては満足が42%。雨の影響もあり評価は昨年度と比べ40%弱減少。また、提案公募型委託事業を実施し、『学校外での体験活動充実事業』など5つのテーマで募集。一例として、クッキング教室を開催し、中学生在が体験活動を通じて自己肯定感・自己有用感を高める取組など、行政では困難なきめ細やかな市民サービスを提供。 ②交通災害共済加入率21.37%（1月末現在）。加入率は微減傾向。令和6年4月1日より交通災害共済加入者のインセンティブとして実施した「自転車用ヘルメット購入補助事業」は申請件数が300件にも満たず。民間の類似の自転車保険の台頭、PR不足が原因と分析。 ③第3期大東市環境基本計画の策定、大東市省エネ家電買い換え支援事業、再エネ電力共同購入オークション、脱炭素中小企業セミナー、脱炭素カードゲーム、本庁舎等2か所にマイボトル用給水スタンドの設置など、地球温暖化対策に関連する様々な事業を実施。 ④河川清掃および恩智川クリーン・リバープロジェクトを実施 ⑤令和8年3月議会に条例改正の議案を上程 ⑥・市HPにコンビニ交付方法の動画ページへのリンク掲載。 ・コンビニ交付案内チラシのリニューアル。 ・ポスターの掲示やリーフレットの配布。 ・毎月1回休日開庁。 ・戸籍の附票の写しなどのコンビニ交付取得可能範囲の拡充。				

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	市民生活部（人権室）	部長名	佐々木 由美
----	------------	-----	--------

1. 中長期的な取組方針 「第5次大東市総合計画」の基本目標である、一人ひとりの幸せの実現を図るため、人権行政基本方針に基づき、多様化、複雑化する人権問題に対する取組を進めるとともに、市職員の意識向上を図り、すべての人の人権が大切にされ、多様性を認め合うまちづくりの推進に努める。さらに、差別事象に対する的確な対応を行い、人権教育・啓発の取組みを推進する。また、市民、関係機関との協力、連携を深め、まちづくりに関わる様々な主体が一丸となった人権尊重のまちづくりを進めていく。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	57.1%	
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	51.6%	
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
住みたい自治体ランキング 関西版（目標値）							30位以内
（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外	ランク外	ランク外	ランク外
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
総合戦略の推進を支える体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55.0%	
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.5%	29.4%	
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

4. 令和7年度の取組方針	令和7年度の取組実績
●人権に関する市民意識調査の実施 ●男女共同参画の推進 ●市民協働の人権啓発活動の推進 ●人権文化センターの次期指定管理者選定に向けた検討	●人権に関する市民意識調査を実施し、その結果を踏まえ、差別事象対応マニュアルを改訂した。また、経年比較が可能となる基礎資料を整備した ●男女共同参画については、男女共同参画社会行動計画の進捗管理を各部署と連携して行い、成果や課題を把握するとともに、達成率の向上に努めた ●人権啓発ネットワーク大東や大阪産業大学の学生との協働により、講演会や街頭啓発などを実施した ●人権文化センターの次期指定管理者選定に向け、人権文化センターの運営に関する利用者アンケート調査を実施し、運営状況の把握を行った

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	福祉・子ども部	部長名	田中 正司
----	---------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針
第2期大東市まち・ひと・しごと・創成総合戦略の重点分野である、「出産や子育ての安心と魅力の創設」の実現に向け、子育て世代が安心して子どもを産み育てることのできる多様なこども施策の推進により、「子育てするなら、大都市よりも大東市。」のブランド力の強化と定着を図る。このため、こども家庭センター「ネウボランドだいとう」を中心とした、妊娠・出産から子育てに至る切れ目のない支援体制の強化と、全ての子どもたちが未来に希望をもって成長することのできる支援メニューの拡充に取り組む。 また、包括的な支援体制を構築するとともに、生活困窮者の自立に向けた就労支援や、ひきこもり状態にある方の社会参加のための支援を推進する。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	57.1%
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	51.6%
人口構成バランスの適正化（目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
	（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会増・自然減	社会減・自然減

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）						
【重点分野】						
出産や子育ての安心と魅力の創出						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
年間出生数	（目標値）	839人	887人	920人	960人	1,000人
	（実績値）	799人	780人	724人	727人	661人
若年者層（0～14歳・20～44歳）の社会増減	（目標値）	社会増	社会増	社会増	社会増	社会増
	（実績値）	△404人	△428人	△263人	△326人	△17人
「保育環境が充実した子育てしやすいまち」と感じる人の割合	（目標値）	26.6%	33.9%	41.3%	48.6%	56.0%
	（実績値）	19.2%	20.4%	19.0%	24.3%	22.7%

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和7年度の取組方針	令和7年度の取組実績
●「こども大綱」の理念に則り、引き続き「こどもまんなか社会」の実現に向け、こども家庭センター「ネウボランドだいとう」を中心とした、切れ目の無い子ども・子育て支援の充実に取り組むとともに、全てのこどもの育ちを応援する新たな取り組みである「こども誰でも通園制度」の確実な実施に向けた準備を進める。 ●地域福祉推進に向け、地域住民等が相互に協力し、福祉サービスが必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が確保される支援体制を構築する。	●ネウボランドだいとうにおいては、令和8年度から支援体制を強化するため、母子保健と児童福祉を1つにまとめることや、専門知識を持つ職員を専任の統括支援員のもとで一体的に運営する体制づくりを準備してきた。 ●こども家庭センター「ネウボランドだいとう」における、子育て支援と母子保健に係る相談支援体制について、来年度当初の一本化に向けた検討を完了した。 ●「こども誰でも通園制度」については、今年度の試行的事業を令和7年11月にスタートし、民間就学前教育・保育施設5か所においてサービスを提供している状況である。

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	保健医療部	部長名	北田 吉彦
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針
第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点分野である「健康寿命の延伸」のために、これまで取り組んできた健康づくりの素地をアドバンテージとして、人生100年時代を先導する心も身体も元気なまちを築いていく。そのためにはそれぞれの身体状況や生活状況に応じて活躍できる場や交流できる場を創出し年齢に関わらず社会に様々な形で参画機会を設ける。このことにより、生きがいや楽しみ、ひいては心の健康・身体の健康につなげ、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の構築を目指す。

2. 関連する総合計画の基本目標								
【基本目標】		当初（R 2）	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 1 2 年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）		64. 8%	66. 5%	68. 2%	69. 9%	71. 6%	80. 0%
	（実績値）	63. 1%	55. 4%	50. 3%	55. 5%	53. 7%	57. 1%	
大東の将来への期待度の向上	（目標値）		74. 2%	75. 9%	77. 7%	79. 4%	81. 2%	90. 0%
	（実績値）	72. 4%	56. 2%	51. 3%	56. 1%	55. 7%	51. 6%	
健康寿命の延伸	（目標値）		平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の延伸
	（実績値）	平均寿命 男性： 80. 0歳 女性： 86. 4歳 （平成27年） 健康寿命 男性： 77. 99歳 女性： 82. 22歳 （平成27年）	平均寿命 男性： 80. 7歳 女性： 87. 6歳 健康寿命 男性： 78. 9歳 女性： 83. 7歳	平均寿命 男性： 80. 7歳 女性： 87. 5歳 健康寿命 男性： 78. 9歳 女性： 83. 6歳	—	—	—	
人口構成バランスの適正化	（目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
	（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会増・自然減	社会減・自然減	

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
健康寿命の延伸							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
健康寿命の延伸	（目標値）		平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸
	（実績値）	平均寿命 男性：80.0歳 女性：86.4歳 （平成27年） 健康寿命 男性：77.99歳 女性：82.22歳 （平成27年）	平均寿命 男性：80.7歳 女性：87.6歳 健康寿命 男性：78.9歳 女性：83.7歳	平均寿命 男性：80.7歳 女性：87.5歳 健康寿命 男性：78.9歳 女性：83.6歳	平均寿命 男性：80.6歳 女性：87.5歳 健康寿命 男性：78.7歳 女性：83.5歳	—	—
特定健康診査受診率	（目標値）		33.5%	33.8%	34.1%	34.0%	35.1%
	（実績値）	30.3%	31.2%	31.8%	31.7%	30.1%	集計中
主観的な健康感（健康だと感じる人の割合）	（目標値）		79.2%	80.9%	82.6%	84.3%	86.0%
	（実績値）	75.7% （令和元年度）	—	73.5%	—	—	集計中

【重点分野】							
出産や子育ての安心と魅力の創出							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
年間出生数	（目標値）		839人	887人	920人	960人	1,000人
	（実績値）	799人	780人	724人	727人	661人	655人
	（目標値）						
	（実績値）						

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	（目標値）						
	（実績値）						
	（目標値）						
	（実績値）						

4. 令和7年度の取組方針	令和7年度の取組実績
「第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、特定健康診査をはじめとする各種けん診受診率の向上に努め、市民の健康増進を推進するとともに、高齢者の介護予防にかかる各種施策を充実させ、介護の適正化実施を図りながら、平均寿命の伸びを上回る「健康寿命の延伸」を目指す。	がん検診では、令和5年度から自己負担額を完全無償化し、勧奨・再勧奨を個別通知で行うと共に、胃がん検診（内視鏡）の対象年齢拡大など、受診率向上に取り組んだ。特定健診では、ナッジ理論を活用した勧奨・再勧奨を行うとともに、レセプトと過去の受診歴から医療機関分析を行い、かかりつけ医からの受診勧奨依頼を実施した。 また、「健康寿命の延伸」の取り組みとして、『高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施』、『地域包括支援センターにおけるICTを活用した介護相談機能の強化』、『ICTを活用した高齢者の孤立化防止』、『認知症サポーター・生活サポーター活動のさらなる推進』を具体的施策に掲げ、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターが行う介護予防や地域活動にコーディネートする各種取組みと連動する形でいき、おおむね目標に到達している。

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	都市経営部	部長名	永野 幸宏
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針							
行政主導の大きな開発で経済を回すシンプルな1つの渦から小さな経済の渦がシンクロし、相互に干渉・共鳴して面（エリア）を活性化させる。この小さな渦は民間のノウハウや資源と大東市が有する資源、特に公園、道路など公益資産を掛け合わせて生まれる。まちの豊かさは建物、敷地の価値から「都市空間」や「回遊性・快適性」といったエリアの豊かさに概念を挙げ、大東でしか味わえない楽しく快適かつ安全・安心で持続可能なまちを創出していく。中長期的な都市政策の方針である「大東市都市計画に関する基本的な方針」に掲げるまちづくりのコンセプトである1）安全・安心でいきいきと暮らせるまちづくり2）社会変化に対応する持続可能なまちづくり3）愛着と誇りの持てる魅力的なまちづくりに沿って将来像“地域がつながる魅力を伝える未来へ届ける幸せのまち大東”の実現を図る。							

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）	64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	
大東の将来への期待度の向上	（目標値）	74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	
	（目標値）						
	（実績値）						

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
危機管理の徹底							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	（目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54.0%
	（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%	34.5%	34.9%
住宅の耐震化	（目標値）		83.0%	86.0%	92.0%	93.5%	95.0%
	（実績値）	80% （平成27年度）	—	—	—	—	88.4%

【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
駅前の地価の上昇	（目標値）		18.2万円 16.2万円 25.1万円	18.4万円 16.3万円 25.2万円	18.6万円 16.5万円 25.3万円	18.8万円 16.6万円 25.4万円	四条駅19万円 野崎駅16.8万円 住道駅25.5万円
	（実績値）	四条駅 18万円 野崎駅 16万円 住道駅 25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25.5万円	18.5万円 16万円 27万円	18.5万円 16万円 30万円
	（目標値）						
	（実績値）						

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	（目標値）						
	（実績値）						
	（目標値）						
	（実績値）						

4. 令和7年度の取組方針		令和7年度の取組実績					
・都市を経営するという基本的な考え方の下、歳入確保に努めるとともに、民間投資のトリガーとなるべく、未利用な公的資産を民間に開放することを重視し、公民連携手法を駆使してエリア価値の向上をはかる。具体的には住道駅周辺については、民間事業者等と連携して都市空間の魅力創出について検討するとともに駅前デッキ、末広公園等における民間主体の取組をさらに後押しする環境を整備する。野崎駅周辺については、市営深野園住宅の早期建替えに向け事業を推進するとともに、建替えを契機としたエリア全体の価値向上の検討を進める。 ・公共施設の機能や総量の最適化に向け、公共施設の適正な配置や効果的・効率的な運営の方向性を示すため、各施設の現状調査を行う。		・市営大東北新町住宅敷地の余剰地をコンビニエンスストアとする活用及び末広町内の市有地を駐車場とする活用により歳入確保に繋げた。 ・住道駅周辺については、地域活性化・賑わい創出のため「住道駅周辺等活性化応援団」を17団体認定するとともに、令和6年度末に構築した「住道駅周辺エリアプラットフォーム」にて「住道駅周辺エリア未来ビジョン」を策定した。野崎駅周辺については、地域や商店街、大学等の方々とのワークショップの開催や社会実験の実施を行い、野崎エリアのこれからの姿をビジョンブックとして策定した。 ・市営深野園住宅の早期建替えに向けた事業を進めるため、住民との対話を重ねるとともに、設計・施工一括発注方式での事業実施を円滑かつ効果的に遂行するためアドバイザー業務等を実施した。 ・各公共施設の現状調査として、ファシリティマネジメントの観点から、公共施設等に係る工事及び修繕費用について、物的緊急性や最適化性の評価・現状調査を俯瞰的・長期的な視点で実施した。					

令和 7 年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式 1-1 (方針)

部名	都市整備部	部長名	村田 大亮
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針							
市民お一人おひとりが幸せを実感でき、これからも住み続けたいと感じるまちを目指し、市民や民間のノウハウや資源と大東市が有する資源を掛け合わせ、まちの魅力の対象を「都市空間」や「回遊性・快適性」といった概念にも広げ、エリア価値を高め、大東でしか味わえない楽しく快適かつ安全・安心で持続可能なまちを創出していく。 高齢化やSDGs等による価値観の変化に配慮しつつ、本市の強みである交通至便性や豊かな自然などを活かした魅力あるまちづくりを行いながら、本市でも起こりうる風水害・地震等の大規模自然災害等に対応すべく、立地適正化計画等を有効に活用しながら国土強靱化地域計画等に沿った安全・安心のまちを目指すため、都市を支える道路・橋梁・ポンプ施設等の老朽化対策等に積極的に取り組む。 あわせて、都市の基盤を形成する野崎駅・四条駅周辺整備などの現在進行中の事業については、着実に推進するとともに、道路等の基盤施設の適正な維持管理に努める。							

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	57.1%	
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	51.6%	
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
危機管理の徹底							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度（目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54.0%	
（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%	34.5%	34.9%	
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
駅前地の地価の上昇（目標値）		18.2万円 16.2万円 25.1万円	18.4万円 16.3万円 25.2万円	18.6万円 16.5万円 25.3万円	18.8万円 16.6万円 25.4万円	四条駅19万円 野崎駅16.8万円 住道駅25.5万円	
（実績値）	四条駅18万円 野崎駅16万円 住道駅25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25.5万円	18.5万円 16万円 27万円	18.5万円 16万円 30万円	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度（目標値）		18.7%	22.0%	25.4%	28.7%	32.0%	
（実績値）	15.4%	16.6%	15.3%	19.1%	17.0%	16.4%	

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

4. 令和7年度の取組方針	令和7年度の取組実績
①選ばれるまち・持続可能なまちづくり（高齢化やSDGsを意識したまちづくり）人口減少、少子高齢化に加え、市民のSDGs意識の高まりなど、社会情勢の変化から都心近郊の自然豊かで交通便利性が高い本市の魅力が再認識されると見込まれるため、交通結節点や都市公園等の整備等を行い、市民等から選ばれ、市民が住み続けたいと感じるまちづくりを進める。 ②安全・安心のまちづくり 橋梁等については、橋梁長寿命化計画等に基づき適切な維持管理を継続し、浸水対策に有効なポンプ場については、再整備に向け策定されたポンプ場更新計画に基づき事業を実施し、本市でも起こりうる地震や豪雨などの自然災害等に対応した安全・安心なまちを目指す。 ③まちづくりを担う職員の育成 部全体の職員の能力向上と横断的な連携を目的とした施策検討会及び人材育成や技術力の向上及び継承のため設計審査会を継続実施する。各課においては業務の進捗状況や課題等の情報共有を徹底するため定期的に事務研究会を実施しリスクの早期発見や業務改善、事務効率化などを誰もが提案可能な職場環境を整える。	①市民の移動手段の確保に向け、アンケートの集計・分析及び既存乗降調査等を踏まえ交通不便地の課題を整理し、今後のルート再編・再構築に向けた検討を行った。さらに、都市基盤を形成する野崎駅・四条駅周辺整備については、四条駅駅前東線の整備を行った。また、都市公園については再整備計画に則り西橋の里公園の整備等を行い、地域の望まれる特色ある公園づくりを進めた。 ②安全・安心のまちづくりの実現に向け、橋梁長寿命化計画に基づき深北大橋等の橋梁補修などを行い、適切な維持管理を継続し実施した。また、浸水対策事業として大東中学校校庭貯留施設整備と寺川ポンプ場改修工事を行うとともに、ポンプ場更新計画により深野第1ポンプ場の実施設計を完了した。 ③施策検討会については、都市整備部及び都市経営部各課職員が参加し、違算の防止、DX、各課の業務や計画等の情報共有等を図るとともに、設計審査会でも、都市経営部2課の参加もあり、3課計3案件について、人材育成や技術力の向上のため、積極的な検討を行った。また、各課においては定期的な事務研究会で現状把握を行い、必要に応じた随時の意見交換により、リスクの早期発見や業務改善等に努めた。

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	産業・文化部		部長名	田中 知子			
1. 中長期的な取組方針							
第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点分野である「6チャレンジする人と産業の後押し」に掲げる柔軟性と強靱性を備えた産業基盤の構築を図るため、創業や新技術などへのチャレンジ支援、企業留置・誘致の推進とともに、ものづくり産業と教育機関の集積という大東の強みを活かし、就学から就職・勤労に至るまで切れ目なく人を育む仕組みの構築や、産官学の連携による市内事業者の産業技術の向上、経営支援等を行う。 本市歴史的資源を観光資源へと横展開し、観光施策との融合、連携を図り、地域経済活性化につなげる。							
2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）	64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	57.1%
大東の将来への期待度の向上	（目標値）	74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	51.6%
市民の経済力の向上	（目標値）	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上
	（実績値）	課税対象所得府内平均以下（平成29年）	課税対象所得府内平均以下（令和2年）	課税対象所得府内平均以下（令和4年）	課税対象所得府内平均以下（令和5年）	課税対象所得府内平均以下（令和6年）	—
3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
住みたい自治体ランキング 関西版	（目標値）					30位以内	
	（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外	ランク外	
	（目標値）						
	（実績値）						
【重点分野】							
チャレンジする人と産業の後押し							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
地域職業相談室からの就職件数	（目標値）	783件	888件	991件	1,096件	1,200件	
	（実績値）	678件	753件	762件	797件	集計中	
全産業の付加価値額（万円／事業従事者1人あたり）	（目標値）					大阪府付加価値額以上	
	（実績値）	大東市：458万円 大阪府：585万円（H28年）	大東市：450万円 大阪府：542万円	—	—	—	
創業者件数	（目標値）	45件	47件	47件	49件	50件	
	（実績値）	43件	53件	74件	81件	集計中	
「産業（商業・工業など）が元気な活力のあるまち」と感じる人の割合	（目標値）	22.0%	29.0%	36.0%	43.0%	50.0%	
	（実績値）	15.0%	20.3%	17.6%	22.4%	17.9%	
【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	（目標値）						
	（実績値）						
	（目標値）						
	（実績値）						
4. 令和7年度の取組方針		令和7年度の取組実績					
・総合戦略や市長公約にも掲げられている、起業や企業誘致を進めるにあたり、市内企業の現状、大東市の強みやポテンシャルを把握するためのアンケート調査・分析を行うとともに、専門家のアドバイスや先進他事例を参考に、本市での取組の方向性や具体的施策の検討を行う。 ・市内企業が、持続的かつ強靱な経営を維持できるよう、人材育成や企業間連携などの支援を継続し、市内企業の留置に努める。 ・市民の生活の質的向上を図るため、文化・スポーツ事業の実施、支援を行う一方で、市民ニーズの把握と行政としての役割の整理を行う。 ・歴史資源等、市の魅力資源を生かし、市外への観光プロモーションを推進し交流人口の増加を図る。		・市内企業の現状、経営課題、支援ニーズ、「大東市での創業」に関する評価等を把握する企業活動の実態調査を実施。実態調査結果や企業誘致推進アドバイザーの助言、先進自治体の取組みのヒアリングなどをもとに、今後の方向性と施策の指針となる「企業誘致に係る方針」を4月に策定予定。 ・市内企業人材育成プログラムの一環として、DAITO DOUKI CAMPUSを開催し、市内事業者の人材育成や企業間連携支援を行うとともに、大東ビジネス創造センターにおいて、売上向上支援を実施し、市内企業の留置に努めた。 ・eスポーツの取組みをPRし、eスポーツへの関心や理解を得るとともに、市内企業と連携する等、地域の活性化をはじめとする社会課題の解決を目的としてeスポーツ体験会及び大会を市内各地で開催したほか、高齢者及び障害者体験会も実施。 ・歴史資源など市の魅力を伝え交流人口の増加を図るため、大阪・関西万博や大阪お城フェスでのメイン展示など市外へのアウトリーチ活動を行い、観光プロモーションの強化を行った。 ・観光と産業の掛け合わせにより地域経済の活性化につなげるため、市内事業者と共に観光商品開発を行うとともに、観光スポットと市内店舗の情報を盛り込んだデジタル観光マップを制作した。					

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	教育総務部	部長名	北本 賢一
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針

第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる重点分野である「確かな学力の向上と教育環境の充実」に向けて、大東ならではの彩り豊かな教育機会の創出によって、学びの個別最適化を図り、一人ひとりの学ぶ意欲を喚起する。そのために学力向上の取組みを一層推進し、学力の底力を育て、民のノウハウを活用した多彩な大東オリジナルの教育メニューを提供するとともに家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。
加えて、学びの深化や個別最適化、誰一人取り残さない教育を後押しするツールとしてICTの積極的な活用を図る一方で、発達段階で必要な「人と人との豊かな関わり」にもきめ細やかに取り組んでいく。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	57.1%	
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	51.6%	
人口構成バランスの適正化（目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会増・自然減	社会減・自然減	

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】

確かな学力の向上と教育環境の充実

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						国平均以上
「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合（実績値）	大東市 小：79.8% 中：75.0% 国 小：85.8% 中：81.9% (令和元年度)	大東市 小：76.7% 中：75.0% 国 小：83.4% 中：81.1%	大東市 小：81.5% 中：74.2% 国 小：85.4% 中：82.9%	大東市 小：80.5% 中：74.5% 国 小：85.3% 中：81.8%	大東市 小：76.9% 中：79.5% 国 小：84.8% 中：83.8%	大東市 小：82.8% 中：80.6% 国 小：86.5% 中：86.1%
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和7年度の取組方針

令和7年度の取組実績

1. 「小中一貫教育の推進と発展」のため、(仮称)大東市立ほうじょう学園の設置に向けた準備をすすめる。令和7年度は、工事に関する契約議案の提出をめざすとともに、引き続き、地域や教職員等との連携を図り、『基本構想』で定めた学校づくりを推進する。
2. 「学校施設・設備等の安全性の構築」のため、新たに『学校長寿命化計画』を改訂し、次代の学校施設の方針を構築する。また、長寿命化の設計・工事及び校舎・体育館の空調設備にあっては、計画的な更新・新設の整備を施す。
3. 「給食を柱とした食育の推進」のため、安全でおいしい学校給食を提供するとともに食育の推進を図る。
4. 「徹底的家庭応援」のため、家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。とりわけ、「家庭教育支援事業」は、学校・家庭・地域の担い分けの方針を構築する。
5. 教育委員会会議は、本市の教育行政を決定する重要な機関であることを念頭に、引き続き、活性化の方策を講じる。
6. 青少年教育センターは、青少年の健やかな育成と人権意識の高揚を図るためのものとの認識に立ち、安全性を担保した上で運営の活力を図る。
7. 「確かな学力の向上と教育環境の充実」のため、これまでの取組みを検証するとともに、新たな次代に応じた『総合戦略』・『教育大綱』の改訂に向けたビジョンづくりをすすめる。

1. 『(仮称)大東市立ほうじょう学園施設整備方針』を策定した。総合評価一般競争入札により施設整備事業実施設計・施工業者を選定し、3月議会にて契約議案の議決を得た。
2. 長寿命化改修工事について、交付金が採択保留となった2校は事業延期となったが、着手済の2校は工期に沿って整備を進めた。校舎・体育館の空調設備は工期通り整備が完了した。
3. 食育授業の交流・検証等を通じて、より実践的な食育の推進に努めた。精米など食料費の高騰が続く中でも、献立の創意工夫等により安全で美味しい給食の提供を行った。
4. 「徹底的家庭応援」のため、家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成すべく、各種いっカフェや家庭教育講演会を積極的に実施し、多くの保護者にご参加いただいた。「家庭教育支援事業」は、学校・家庭・地域での教育の役割分担について新たに小学1年生の保護者に意識調査を実施し、相談事業やサロン型・セミナー型支援の実施に活かした。
5. 教育委員会会議の録画配信などを実施し、会議の「活性化」と「見える化」に努めた。
6. 北条青少年教育センターにおいては、各種教室のほか学力ゼミなど多様な事業を予定通り行うことができた。人権学習についても夏休みのビデオ鑑賞や親子バスツアーなどのイベントを実施したほか、毎月のセンターだより『北斗』にて『人権の窓』というコラムを掲載した。地域交流事業にも積極的に参加し認知度も大きく伸びた。野崎青少年教育センターでは、書道等の各種教室や学力向上ゼミ、屋外での親子体験行事など、子どもたちにとっての様々な学びや体験の機会を提供できた。機関誌の人権コラムでは、子どもたちに考えてもらいたい身近な問題を毎回取り上げた。また、地域交流事業の取組を通して施設の魅力、認知度の向上につなげることができた。
7. 「確かな学力の向上と教育環境の充実」のため、政策推進部とともに、『教育大綱』を改訂し、今後5年間の教育に関する方向性を策定した。

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	学校教育政策部	部長名	渡邊 良
----	---------	-----	------

1. 中長期的な取組方針							
第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる重点分野である「確かな学力の向上と教育環境の充実」に向けて、大東ならではの彩り豊かな教育機会の創出によって、学びの個別最適化を図り、一人ひとりの学ぶ意欲を喚起する。そのために学力向上の取組みを一層推進し、学力の底力を育て、民のノウハウを活用した多彩な大東オリジナルの教育メニューを提供するとともに家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。 加えて、学びの深化や個別最適化、誰一人取り残さない教育を後押しするツールとしてICTの積極的な活用を図る一方で、各発達段階において必要な「人と人との豊かな関わり」について、きめ細やかに取り組んでいく。							

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	57.1%	
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	51.6%	
人口構成バランスの適正化（目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減	社会増・自然減	社会減・自然減	

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
確かな学力の向上と教育環境の充実							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
全国学力・学習状況調査の標準化得点（目標値）							100以上
（実績値）	小学校 国語：98 算数：99 中学校 国語：98 数学：97 （令和元年度）	小学校 国語：98 算数：98 中学校 国語：98 数学：98	小学校 国語：98 算数：99 中学校 国語：99 数学：98	小学校 国語：98 算数：98 中学校 国語：98 数学：98	小学校 国語：98 算数：98 中学校 国語：98 数学：98	小学校 国語：97 算数：99 中学校 国語：98 数学：97	—
不登校（学びへアクセスできていない）児童・生徒数（目標値）							0人
（実績値）	24.2%	27.2%	261人 （学びへのアクセス）	92人 （学びへのアクセス）	82人 （学びへのアクセス）		集計中
「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合（目標値）							国平均以上
（実績値）	大東市 小：79.8% 中：75.0% 国 小：85.8% 中：81.9% （令和元年度）	大東市 小：76.7% 中：75.0% 国 小：83.4% 中：81.1%	大東市 小：81.5% 中：74.2% 国 小：85.4% 中：82.9%	大東市 小：80.5% 中：74.5% 国 小：85.3% 中：81.8%	大東市 小：76.9% 中：79.5% 国 小：84.8% 中：83.8%	大東市 小：82.8% 中：80.6% 国 小：86.5% 中：86.1%	

4. 令和7年度の取組方針	令和7年度の取組実績
〈方針〉 「令和の日本型学校教育」として示されている「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」を実現する。その際、以下7点を「重要取組み事項」とする。 〈重点取組事項〉 ①「学力向上」 「大東教育ビジョン2025」を全教職員が効果的に活用し、一層の授業改善を行うことで学習・授業の質的向上を図る。 ②「ICT活用」 GIGAスクール構想5年目における一人一台端末のリプレイスをふまえ、児童生徒が「効果的かつ日常的かつ主体的」に活用し、「自己調整力」をつける中で、一人ひとりの学力向上に結び付くよう、教員の授業改善についてICT教育戦略課と教育研究所間の一層の連携を行う。 ③「不登校支援」 教育プログラムやオンライン対応等による教育支援センター「ボイス」の拡充及び全校において校内教育支援ルームを整備・活用する。将来の社会的自立へとつなげるべく、「学びにアクセスできていない児童生徒0」に向けた取組みを行う。 ④「業務環境の改善（働き方改革）」 リフレットの活用促進や出退勤システム導入による時間外勤務管理を各校と連携して行う。とりわけ、時間外在校時間80時間以上の教員が0となるよう、必要に応じて産業医を活用する。教頭マネジメント支援員は効果検証を確実に行う。生徒指導対応等ではスクールロイヤー制度を効果的に活用し、活用検証を行う。 ⑤「（仮称）ほうじょう学園構想」 市教育委員会主導で、北条小・中学校教職員と連携したWSを継続し、カリキュラムや学年・行事区分等、ソフト面についてフォーマットを作成する。 ⑥「休日部活動の地域移行（魅力的な部活動の構築）」 関係各所との連携を強化し「仕組み化」することで持続可能な部活動を構築する。 ⑦「『大東市を知る、愛する、活用する』体験学習の充実」 商工会議所や関係各所と連携し、家庭を含めた学校外の学びを充実させる。 上記7点他、年間を通じた種々の業務遂行において、部内各課各職員のモチベーションを維持・向上させるべく今年度の部スローガンを「7 at the same time !」とする。	「令和の日本型学校教育」として示されている「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」を実現するため、部スローガン「7 at the same time !」のもと、各課職員が主体的かつ計画的・創造的に業務に向き合い、年間を通じて以下7点を重要取組みとして業務を遂行した。 ①「学力向上」 「大東教育ビジョン2025」を各教職員が効果的に活用することができ、授業実践記録として活用する「マイポートフォリオ」は年間で1600件を超える活用となり、市内教員の好事例共有及び授業改善に資することができた。 ②「ICT活用」 授業づくりにおいて、児童生徒が「学びの選択肢の一つ」として、タブレット端末をいかに効果的に活用するかについて、ICT教育戦略課と教育研究所が連携して各校の実践を支援することができた。今後は、活用の質を追求するとともに「学習意欲の向上」及び「家庭学習習慣の向上」に結び付けることで一層の学力向上、ひいては「生きる力」の醸成を図る。 ③「不登校支援」 「ボイス」においては開室日を増やし、アウトリーチ支援に取り組むとともに、学習プログラムを整理することができた。「学びにアクセスできていない児童生徒0」に関しては前年度比で半減以下となった。 ④「業務環境の改善」 時間外在校時間80時間以上は小学校において減少した。産業医はのべ85名が活用することができた。教頭マネジメント支援員は新任教頭の時間外在校時間が平均を下回る等効果があった。今年度までの成果と課題をふまえ、市教育委員会として「業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定した。スクールロイヤーの活用は200件以上となり各校支援に資することができた。 ⑤「（仮称）ほうじょう学園構想」 ソフト面を推進させるにあたり、次年度以降の分科会による会議体の構築や、教育課程の参考となるカリキュラムや学年・行事区分プラン等について整理することができた。 ⑥「休日部活動の地域移行（魅力的な部活動の構築）」 部活動地域移行コーディネーター3名により、次年度以降の地域展開に向けて事務局体制を「仕組み化」できたことは大きな成果である。卓球スクールについては平日の活動も含むことから計画的に運営する必要がある。 ⑦「『大東市を知る、愛する、活用する』体験学習の充実」 部活動各所や市内企業と連携することで、学校外での体験的な学びを充実させることができた。また、小学校第3学年を対象とした「ふるさとジュニア検定」を今年度も全校で実施することで自分の市を知る機会となった。

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	上下水道局	部長名	岡田 学
----	-------	-----	------

1. 中長期的な取組方針

「幸せデザイン 大東」（第5次大東市総合計画及び第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略）のまちづくりの理念である「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」に基づき、水道事業においては、令和2年度策定した水道ビジョンの基本理念を「いつまでもつづく『幸せのまち』を支える水道」とした。基本方針の《安全》安全でおいしい水の供給、《強靱》いつでもどこでも安定した給水の確保、《持続》適正な維持管理と経営基盤の強化を実現するため、アセットマネジメントに基づく事業を実施し、災害に強い水道の構築を目指す。又、下水道事業においては、「大東市管路施設ストックマネジメント実施方針」に基づき、重要度の高い施設から順次、点検・調査及び修繕・改築を実施し、下水道施設の長寿命化によりライフサイクルコストの低減を図り、良質な下水道サービスを持続的に提供することを目指す。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	57.1%	
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	51.6%	
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】							
危機管理の徹底							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「災害等に対して安全・安心なまち」に 対する市民満足度	（目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54.0%
	（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%	39.3%	34.5%	34.9%
	（目標値）						
	（実績値）						

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和7年度取組方針	令和7年度取組実績
水道事業においては、「アセットマネジメント耐震化・再構築計画」に基づき、重要拠点配水管路の耐震化及び配水場内施設耐震化事業を実施していく。 下水道事業においては、施設の延命化・長寿命化を図るため、「第1期ストックマネジメント修繕・改築計画」に基づき、令和5年度に実施した詳細設計を基に改築工事を実施する。また、「第2期大東市管路施設ストックマネジメント実施方針」に基づき、管内調査及び「第2期ストックマネジメント修繕・改築計画」を策定する。また、道路陥没事故防止を目的とした下水道管路特別重点調査を実施する。	下水道事業において、「第1期ストックマネジメント修繕・改築計画」に基づき予定していた改築工事を完了させることができなかったが、「第2期ストックマネジメント実施方針に伴う調査」及び「第2期ストックマネジメント修繕・改築計画策定」に基づく業務を完了した。また、道路陥没事故防止を目的とした下水道管路特別重点調査について、対象となった全ての管路の調査を完了し、決められた期間内に大阪府経由で国へ報告を行った。

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	議会事務局	部長名	竹中 慎太郎				
1. 中長期的な取組方針							
デジタル社会となったいま、色々な情報が飛び交い本市議会に対してもこれまで以上に市民の関心度は高まっているものと実感しています。さまざまな市民の声を聞き、市政に反映していく市議会の役割はより一層重要となってきた。このことから市政の発展並びに市民の福祉増進に十分寄与できるよう議会事務局自体の機能強化及び事務の効率化を図ることが必要である。また「開かれた議会」の実現を目指すべく「見える化」を推進していきます。本市会議で導入している同時翻訳機能のシステムの精度をより一層高め、議会傍聴にお越しの方に「聞いて・見て」理解できる市議会となるよう努めると共に傍聴者増大を目指します。今後も議会運営において、さまざまな情報にアンテナを張り巡らせ、議会機能の充実を中長期的な視点で取り組んで参ります。また市民の皆さまに関心をお持ちいただけるよう、議会公式SNSや議会だよりなどを積極的に情報発信して参ります。引き続きICTを活用した新たなサービスの調査研究を行い議会運営力の充実と円滑な市政運営に取り組んで参ります。							
2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）	64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	57.1%
大東の将来への期待度の向上	（目標値）	74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	51.6%
	（目標値）						
	（実績値）						
3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
住みたい自治体ランキング 関西版	（目標値）					30位以内	
	（実績値）	ランク外	86位	ランク外	ランク外	ランク外	
議会改革度自治体ランキング （参考）2020 議会機能強化 262位	（目標値）					30位以内	
	（実績値）	ランク外	ランク外	ランク外	ランク外	ランク外	
【重点分野】							
総合戦略の推進を支える体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	（目標値）	24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55.0%	
	（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.4%	
ICTを活用した業務の効率化 （議会のオンライン会議）	（目標値）	10.0%	20.0%	30.0%	40.0%	50.0%	
	（実績値）	0%	10.0%	20.0%	30.0%	40.0%	
【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	（目標値）						
	（実績値）						
	（目標値）						
	（実績値）						
4. 令和7年度の取組方針							
令和7年度の取組実績							
・二元代表制の一翼を担う議会がその責任と役割を十分に果たし、議会機能が有効に発揮され市政発展に寄与できるようにきめ細かなサポートを行う。 ・本市の通年議会制度の導入により執行機関への監視機能が高まったことに伴う議会の政策形成機能の充実と理事者側との緊密かつ円滑な橋渡し役としての役割を十分に発揮できるよう積極的に取り組んでいく。 ・議会SNSや議会だよりを通じて、より多くの市民に市議会のことに関心を持っていたけよう、あらゆる広報媒体を活用し積極的に市議会活動を発信する。 ・「開かれた議会」を更に推進するため、同時翻訳機能をより精度の高いものにできるよう改善を図り、審議経過などを市民にわかりやすく、より関心を持っていたけよう「わかりやすい議会」を目指す。 ・議会事務局は裏方的な役割であることを自覚しながらも市行政の議事運営の重要な根幹の役割を担っているというプロ意識を高く持ちつつ、行政のオールハンドプレーヤーとしての確な対応力の強化を図っていく。 ・令和7年度においては年4回の定例月議会のほか、通年議会導入のメリットを最大限活用し2回の特別議会を開催。必要とする議決審議のタイミングを逸することなく迅速に対応することができた。 ・議会公式SNS（Instagram・X）では令和7年度も引き続き積極的に運用し、本会議ごと委員会ごとにきめ細やかな議会日程を市民に周知すると共に市議会の日々の活動なども積極的に発信。また「議会だより」についても大東市内にある3駅に配架し市民に親しまれる市議会へと近づくことができた。 ・改選後の懸案事項であった議会基本条例の評価・検証を行い、一定の結果を見出すことができた。今後は評価・検証結果を基に大東市議会のあり方を検討していく。 ・議会傍聴招待及び議場講演、コンサートを定期的に開催。出前議会報告会も計画敵意開催することができ市民が議会と直接触れていただくことができた。引き続き議会出前報告会を開催することにより市民の方に興味をもっていただき、本市議会が目標としている「開かれた議会」を推進していく。							

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局
----	-----------------------

部長名	藤田 正登
-----	-------

1. 中長期的な取組方針

第5次大東市総合計画における考え方の一つである「財政基盤強化の考え方」において、今後の行政運営については、新しい取組みに積極的に取り掛かる一方で、既存の取組みについては不断の見直し・再編を行うとされており、選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局においても、デジタル化が進むこれからの時代にふさわしい行政サービスの実現に向けて乗り遅れることの無いよう、昨年度に引き続き常に各方面の動向に注目し、総合戦略を着実に推進していく。そのために生活圏域の視点に立った近隣自治体等との連携の検討を進める。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	57.1%	
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	51.6%	
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】							
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55.0%
	（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.5%	29.4%
ICTを活用した行政サービスの提供（選挙事務にかかるICTの活用）	（目標値）		10.0%	20.0%	30.0%	40.0%	50.0%
	（実績値）	0%	0.0%	20.0%	25.0%	25.0%	35.0%

【重点分野】

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和7年度取組方針

①選挙管理委員会事務局は、有権者の視点に立った投票環境の整備や投票意欲の醸成が図れるような施策の強化に鋭意取り組み、投票率の向上に向けた手法の調査・研究を行う。 ②監査委員事務局は、文書管理・電子決裁システムを駆使し、正確で迅速な監査体制をより強固なものとした上で、各部署での事務の管理及び執行等について、これ迄以上に厳格なチェックを行い、当該事務の適正化を図る。 ③公平委員会事務局は、昨今増加の傾向が著しい各種ハラスメントに係る突発的な事案の発生を見据え、事務処理の停滞を招く事がないよう、多種多様な事例研究に注力し、対応力の俊敏性を高める。	①選挙啓発ポスターコンクールの応募数は、直接学校に赴いて依頼等を行った結果、前年度と比較して2割増となり、児童・生徒の選挙に対する関心を高め、将来の投票意欲を促す契機となった。投票所の変更事象に対し、選挙人の利便性を考慮して旧投票所から近隣の場所を確保した事で、従来の投票者数を上回る結果につながった。 ②本年度は2回選挙が行われたが、定期監査等は年間設定通りの回数をこなし、全庁に向けての業務の適正な執行に係る注意喚起を継続的に実施した。 ③審査請求及び措置要求に関する職員向けの案内冊子を作成し、既存の苦情相談についても一部修正を加え、時勢に対応した公平業務の整備に努めた。
--	--

令和7年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	会計室	部長名	川口 克仁
----	-----	-----	-------

1. 中長期的な取組方針

「第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進を下支えする体制（行政サービス改革）を進める方向性として、強靱な財政基盤の確立を図るとともに、デジタル化が進むこれからの時代にふさわしい行政サービスの実現に向けて不断の改革を行うことが示されている。会計室においては、確実な資金管理の下、安全性を重視した効率的な資金運用を実施し、財政基盤の強化に寄与する。また、税公金納付のキャッシュレス決済拡充や公共料金支払いの一括口座振替化を関係部署と連携して実施し、デジタル化により市民の利便性向上や事務の効率化を図る。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80.0%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%	55.5%	53.7%	57.1%	
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90.0%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%	56.1%	55.7%	51.6%	
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】							
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続のオンライン化	（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81.0%
	（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%	58.6%	61.0%	62.7%
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55.0%
	（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%	29.6%	29.5%	29.4%

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和7年度取組方針	令和7年度取組実績
○基金に属する現金を有効活用し、持続可能な財政運営に資するため、資金の安全性と流動性を確実に確保しつつ、運用収益の最大化を図る。令和7年度は、資金運用ガイドラインの着実な実施に取り組む。 ○公金収納のデジタル化を推進し、市民・事業者の利便性向上、収納事務の負担軽減を図る。	○資金の安全性、流動性を確保した上で、基金一括運用による債券・定期預金運用や歳計現金の普通預金預入を行い、利子収入を増加させることができた。 ○公金納付に係る利便性向上や事務効率化に資するeL-QRを令和8年9月から税以外の公金にも活用できるよう、公会計システム改修の準備作業を進めた。